

会 議 録

会 議 名	第 2 1 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 1 回		
事 務 局	公民館 本館		
開 催 日 時	平成 2 2 年 9 月 7 日 (火) 午前 9 時から 1 0 時 3 0 分		
開 催 場 所	公民館本館		
出 席 委 員	阿部委員、遠藤委員、末包委員、菅沼委員、福井委員、野口委員		
欠 席 委 員			
事 務 局 員	渡辺社会教育主事、和田主任、渡辺主事		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	<p>1 企画実行委員担当について</p> <p>2 主催事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○まちづくり講座 ○成人学校 ○男女共同参画講座 ○子どもの人権講座 ○施設研究講座 <p>次回の日程 1 0 月 5 日 (火) 午前 1 0 時から</p>		

1 第21期小金井市公民館本館事業分担

事業内容	担当職員	担当委員
成人大学講座	渡辺（陽）	遠藤、菅沼、福井
成人学校	渡辺（太）	遠藤、野口
男女共同参画講座	和田	末包、野口
シルバー大学	和田	末包、菅沼、福井
市民講座	渡辺（太）	遠藤、末包、菅沼
子ども体験講座	渡辺（太）	阿部
子どもの人権講座	渡辺（陽）	阿部
市民がつくる自主講座	和田	
障害者青年学級（みんなの会）	和田	
にほんごで国際交流	渡辺（太）	
福社会館まつり	全員	
地域センター施設研究講座	渡辺（陽）	遠藤、福井、阿部
まちづくり	渡辺（太）	遠藤、福井、
16ミリ映写機操作講習会	渡辺（陽）	
機材貸出し	全員	
市民映画会	渡辺（陽）	
（仮）貫井北町地域センター建設		

2 主催事業について

○まちづくり講座

渡辺（太）：実施時期は2月で3回の講座を予定しています。それにあたって準備会を9月16日（木）午後3時から本館で行います。すでに市報9月1日号で準備委員を募集しているところですが、現在まだ1名の応募しかないので、できればPR等をお願いいたします。

福井委員：準備会はどのくらいのスパンで行うのでしょうか。

渡辺（太）：月1回で3回くらいを予定しています。そこで内容・講師等を決めて行きます。

○成人学校

渡辺（太）：実施時期は12月に3回予定しています。成人学校については、準備会を設けず立案は、企画実行委員サイドで内

容・講師等を出して行く流れになっています。先日、遠藤委員から「西洋絵画を読み解く」と「速読術」の二つの案が提案がありました。因みに「西洋絵画を読み解く」については、7月に緑分館の市民講座で行われました。

遠藤委員：緑分館で好評だった講座でしたが、緑分館ではもう実施するつもりはないとのことでした。

末包委員：緑分館で実施しない理由は何故なんですか。

渡辺（太）：市民講座の枠で2回分残ったので急遽決めた講座であり、次年度からは他の講座を実施したいとのことでした。

菅沼委員：まだ理解していないので教えてください。成人大学、成人学校、シルバー大学、市民講座の位置付けを教えてください。

渡辺（陽）：公民館では、生活のすべてにわたる必要課題を取り上げるわけですが、趣味、芸術を含めて成人学校で学んできました。1960～70年代以降、都市化に伴うさまざまな現代的課題に対するの学びが問題になります。その中から、市民講座が生まれてきました。同時に、学びも高度な知識、体系的な知識が必要とされることから、市内、周辺の高等教育機関のお力を借りて講座をつくりたいという趣旨から成人大学が開設されたという経過があります。高齢者学級は、公民館の花形講座で、身近な生活課題から芸術、時事、体系的な知識まで幅広いテーマをとりあげて、各館独自に企画しています。本館のシルバー大学では、どちらかというと、時事や現代社会に対する体系的理解にウエイトを置いた講座が多いという特徴があります。

菅沼委員：例えば、年度計画で、この講座は成人学校で、この講座は市民講座でというような位置付けで実施するといった全体の体系がなさ過ぎたと思います。年度当初にもう少しきっちりと決めるべきだったと思います。

遠藤委員：成人学校については、19期は映像関係、20期は音楽関係、今期は美術関係と言った流れがあった。

末包委員：年度当初は4月で企画実行委員が決まるのは7月なので決められないのでは。

福井委員：例えば、市民講座で実施している講座を成人学校の枠で実施しても構わないのですよね。

渡辺（陽）：この様な議論は公運審でもありました。結論から言うと、全体の公民館でどの様な方針で行くのかと言う基本方針を館長から提案し公運審で議論をする。それを受けて、企画実行委員さんでも全体の方針と今年重点目標を検討する流れになって来ています。ただ、分館の成人学校については、改めた方が良いのではと言う提案は出ています。逆に、成人学校の枠は使い勝手が良いので変えてほしくないと言う意見があり、進まなかったと言う経緯もありました。

しかし、大きな方針を立てて、その中でうちとしては、講座の位置付けを方針に沿って変えて行こうと言う議論になっています。

菅沼委員：成人大学、シルバー大学の位置付けは分かるが、成人学校、市民講座と同じようなタイトルで経験した委員は理解できるが、位置付けが良く分からない。

野口委員：むしろ一緒に考えて、その中でテーマを幅広くやる方がやりやすいのかと思います。

阿部委員：講座によって年齢層は変えているのですか。

和田：唯一シルバー大学がおおむね60歳以上で、他の講座については特に決めていません。先程、菅沼委員がおっしゃった講座の内容を変えるのであれば10月の予算要求の時点までに大枠を決めなければ新たに内容を変えることはできない。

渡辺（太）：成人学校実施（案）については、いかがでしょうか。

遠藤委員：担当委員として、非常に面白いと思い「西洋絵画を読み解く」、「速読術」それぞれ3回講座で実施する（案）を提案しました。「西洋絵画を読み解く」を実施すると言うことでよろしいでしょうか。

全委員：「西洋絵画を読み解く」の方が興味深いと思います。

渡辺（太）：では、その方向で進めさせていただきます。担当の遠藤委員、野口委員両委員さんよろしくお願いたします。

○男女共同参画講座

和田：今年の4月に準備会を行って来て、7月にお茶の水大の高畑さんに講師をお願いして「こころを通わせるコミュニケーション力」ということで実施予定の事業でしたが、こちらの市報掲載等の関係で残念ながら中止し、10月以降の実施することにしました。すでに高畑さんとは日程調整し6回講座のうち残り2回については9月17日の準備会で決めて行くことになりました。
末包委員：準備会の日程は担当企画実行委員に事前に知らせてほしい。

和田：他の準備委員さんとの関係もありましたので。分かりました。すみません。

○子ども人権講座

渡辺（陽）：すでに4回の準備会を開きまして、（案）というところまで進みました。9月9日の午後1から最後の準備会を行う予定です。そこで内容の確認と広報をお願いするところです。内容は、小金井の子どもの権利条例について、子どもの居場所について、発達障害や不登校についての3テーマが出ています。

○シルバー大学

和田：残り7回講座がありますが、ご都合が付けばご参加をお願いいたします。なお、9月30日に社協のみどり号を利用して川越方面に散策に行きます。現在42名の方が参加予定です。

○市民がつくる自主講座

和田：40時間20回の枠を7月から市民の方に募集をしまして、内容は9講座上がって来ています。

末包委員：公運審と研究大会等の新着状況を教えてほしい。

渡辺（陽）：次回から簡単に議題と決まった内容を報告します。また、次回から企画実行委員会の議題に載せるようにします。

以上